

令和5年7月7日（金）

「7. 9 広南防災の日」祈念式を行いました。昭和42年7月9日の豪雨災害により、広南地区では、31名がお亡くなりになりました。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、災害の歴史を受け継ぎ、これからの災害に強いまちづくりを協働していくために、地域の方にもお越しいただき、毎年、祈念式を行っています。長浜地区、小坪地区それぞれの防災リーダーさんに、災害時の話をしていただきました。同級生や近所の方が亡くなった恐怖や自分の命を守るための避難の大切さを話され、児童生徒も真剣に聞いていました。災害は何時、どこで起こるかわかりません。昨日の平成30年7月豪雨災害犠牲者追悼行事や今日の「7. 9 広南防災の日」祈念式での決意を忘れず、自分の命は自分で守るための行動に生かしていきます。

誓いの池に折り鶴を献納しました



昭和42年の豪雨災害による犠牲者を追悼し黙祷



地域代表の方々が参加されました



誓いの碑の碑文を朗読する小学校の代表児童



長浜地区の防災リーダーさんのお話



小坪地区の防災リーダーさんのお話



お話を聞いて、お礼を述べる代表生徒



「尊い命を忘れない 広南の未来のために」唱和



ひらがなのテストを行っていた1年生



国語で、昔話の本を紹介していて2年生



1学期の漢字のたしかめテストを行う3年生



理科で、ヘチマの長さを観察していた4年生



理科で、台風による被害のデオを視聴する5年生



国語で、積極的に考えを交流する6年生

